

要求実現



この3月、大阪鳥飼車両基地（大一両）の「着発線東京方の14、15番線の停止位置目標が、見やすく改善されました！

大阪運輸所分会は、会社に対して2020年の職場改善要求申し入れから、一貫して各車両基地の停止位置目標が特に夜間は、見づらいためLED化するよう言ってきました。

そして、2023年9月25日の改善要求申し入れで、鳥飼車両基地の14番～16番までが、特に見づらく早急に改善を図るよう言ってきました（それまでも現場で管理者に報告してきました）。

しかし、2023年12月15日の会社回答では、「劣化状態等を鑑み、必要な修繕・取り替えを行っている」とし、まったく前向きに改善する意志は見受けられませんでした。

そうした中、再度、現場管理者に直訴し、さらに「分会情報交差点No.694、No.696」を掲示して訴えかけてきました。

そして・・・！

職場の声を反映させた東海労の要求が、ついに実現しました！

でもね・・・！ 残念ながら、16番線の停止位置目標は、3月12日現在、改善されぬままです。年度末にかけて、予算が足らなかったのかな???

まだまだ改善されない問題点、問題箇所はたくさん山積しています！

2018年から改善要求している、各車両基地の停止位置目標、一旦停止標識等のLED化や、名古屋駅電留線のコンクリートブロックの不安定（踏むたびにガタガタ動く）や、東二両着発25番線の手歯止めの脱着位置変更に関する要求等は、改善されていません！

多くの乗務員からの声を、今後も粘り強く会社に訴えかけ、改善を目指して行きます。

